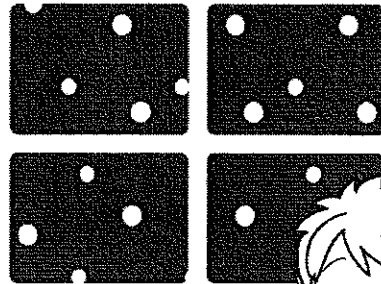


冬の図書館



特別貸出中!

- ◆冊数 制限なし!
- ◆返却日 1月8日(木)

寒さに負けず、読書?

冬休み中は、

閉館です。

貸出等、早めの対応!

こんな本、いかが?

つばさものがたり

栗井 脩介 || 著

読み終わると、きっとひとすじの涙が……。パティシエールの君川小麦は、東京での修行を終えて、家族の夢だったケーキ屋を故郷にオープン!でも、甥の“叶夢”が「ここ流行らないよ」と、不思議なことを言う。それは、彼にしは見えない天使の“レイ”が告げたのだ!余談ですが、天使にも試験がありくるくるまわるスラロームなど……。? (だんだん本当に思えるよ)小麦のひたむきな生き方に引き込まれていると、あなたの心にもきっと“見えない翼”が、舞い降りてくるでしょう。そして、我慢していた涙も。
 (NDC913 角川文庫)

東京バンドワゴン

小路 幸也 || 著

連作短編推理小説。明治から続く古書店“東京バンドワゴン”。四世代のわけあり大家族である堀田家。そこに舞い込む謎を、人情あふれる方法で解決していく。まさしく謎と笑いと、涙ありの物語。現在シリーズ9作。ドラマ化。

- *勘一 (3代目店主・79歳)
ごま塩頭で、頑固で偏屈。大々大の病院嫌い。
 - *サチ (勘一の妻。76歳で死去)
作品の語り手。空から家族を見守っている。
 - *我南人 (勘一の一人息子・60歳)
金髪の長髪。ロックバンドのボーカルで「伝説のロッカー」。口癖は“LOVEだねえ”。
- ……紹介不可能な大家族。 (集英社文庫)

速報：朗読と音楽の調べ



クリスマス読書週間のトップをきいて、『朗読と音楽の調べ』を12月14日(日)13:00から、県立図書館・視聴覚ホールで行いました。私たち図書委員は、このホールに三度目の登場です。(ぶつぶつとつぶやく!)今年も、本当に校外での発表というか活動が多かったです。でも、緊張とサスペンス付?ながら、以外と楽しかったし良い経験になりました。次回は、あなたも参加してみませんか。

観客は先生方も含めて90人くらいで、ちょっぴりハイセンスな会になったと思います。「素敵な会でした」、「色だけで、絵がないのですね」、「それなりに楽しめました」等の感想をいただきました。

プログラム1 朗読会「かないくん」

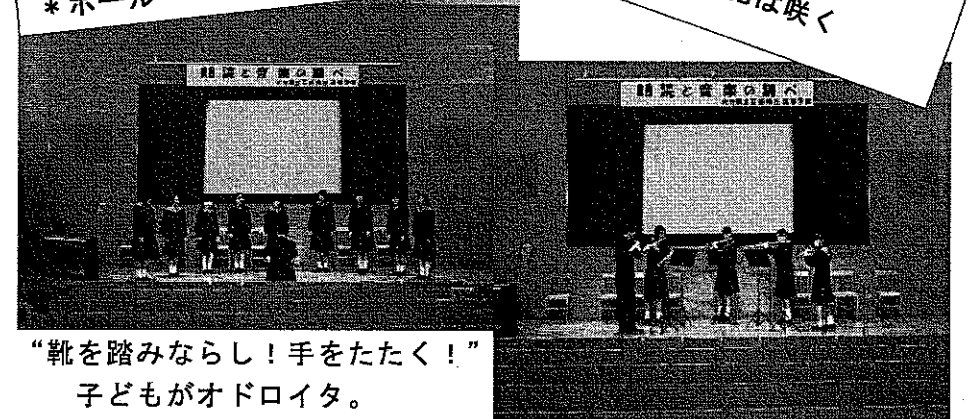
(学校の図書館でDVD上映会を行う予定です)

プログラム2 ミニコンサート

●合唱

- *「青色(せいしよく)廃園」より宮殿
- *ホール・ニュー・ワールド

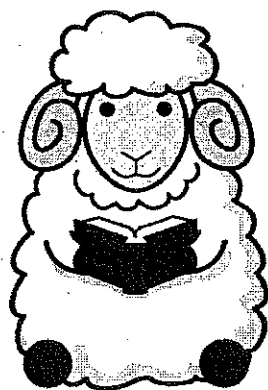
- フルート五重奏
- *雨の庭
- *花は咲く



“靴を踏みならし!手をたたく!”
 子どもがオドロイタ。

人と本

今回の「人と本」は、スペシャルゲスト登場です。2015年は干支で未年。動物にあてはめると『わたし』です。ということで、一足早いヒツジ物語



み ひつじ 豆知識：十二支の未(羊)

ものがたり1 『迷える子羊』(Stray Sheep)

新約聖書のマタイ福音書。羊は群れる性質で、群れから離されるとストレスを受けるとか。先導するものに従う傾向があるので、それに由来するとか。

ものがたり2 『羊を数えるのは?』

眠れないときに羊を数えるのは、イギリスが発祥。羊は英語で「Sheep」、眠る意味の「Sleep」と似ているので暗示をかける作用があるとか。

ものがたり3 『羊にまつわることわざ』

* 羊頭狗肉 (ようとうくにく)

狗肉は犬の肉。羊の頭を看板に掲げながら、犬の肉を売ってごまかすことから、見かけと実質が伴わないことのとえ。立派な物をおとりに、実際粗悪な物を売ることのとえ。

『羊』が書名にある小説

羊たちの沈黙

トマス・ハリス || 著
精神科医でありながら、“カニバリズム”(人肉嗜好)のハンニバル・レクスター博士の話。

羊をめぐる冒険

村上春樹 || 著
幽霊となった友人を捜す物語。「風の歌を聴け」「1973年のピンボール」と3部作。

芸術緑丘高校

大好きな作家

【2014年9月1日～12月10日】

館外貸出：ベスト10(人)

- 1位 伊坂幸太郎
「死神の精度」「死神の浮力」
「ガソリン生活」他
- 2位 香月日輪
「妖怪アパートの幽雅な日常」
注：大人気シリーズ!
- 3位 有川浩
「植物図鑑」「キケン」
「阪急電車」他
- 4位 湊かなえ
「Nのために」
「白ゆき姫殺人事件」他
- 4位 東野圭吾
「マスカレード・ホテル」
「マスカレード・イブ」
「麒麟の翼」
- 5位 芥川龍之介
「地獄変」他
- 5位 まどみちお
「まどみちお詩集」
- 6位 越谷オサム
「100回泣くこと」他
- 6位 中脇初枝
「きみはいい子」
- 6位 山田悠介
「93番目のキミ」
「キリン」他



今月の花 クリスマスローズ

●花言葉：追憶

キリスト生誕の場へ星にみちびかれるままひきよせられた、羊番の少女。キリストの誕生を祝おうとしたが、何も持っていなかったため、悲しく帰途につく。

その時突然、天使があらわれ一面に純白のクリスマスローズを咲かせてくれた。少女は喜び花をつみ、村へ走って行ったキリストは花へ手をさしのべ、にっこりほほえんだそうです。

(前回クリスマスにふさわしい花を選んだのですが・・・事情で冬号になりました)



ZA 首飾

【訂正】ごめんなさい

12月号は、(誤) 289号



(正) 299号

今回の冬号で『祝：300号』となりました。これからも、楽しくてためになる「でんでんみどり」を目ざしますので、読んでください。そして、載せて欲しい内容があれば、クラスの図書委員に知らせてね。